

基本目標2 「育み・学び・思いやり」の質の高いまち

分野別政策5 ふるさとへの誇りを高め未来を拓く教育の推進

施策 No. 14 青少年の健全育成の推進

10年後のめざす姿 人と人とのつながりを活かした協働のまちづくりを展開し、家庭の教育力、地域の教育力を含めた地域力を高め、地域総ぐるみで子どもたちを守り育む地域社会の実現を目指します。

住みよさ指標	当初	単位	実績値の推移					目標値(H37)	評価	
			H28	H29	H30	H31	H32			
1 「青少年の健全な育成」に関する市民満足度	11.4	%	目標値	12.0	12.0			15.5	20.5	↘
			実績値	9.3						
2 少年犯罪者数	1,012	人	目標値	1,012	1,012			1,000	1,000	→
			実績値	1,024						
3 青少年講座参加者数	1,118	人	目標値	1,150	1,250			1,300	1,500	○
			実績値	1,223						
4 青少年リーダー数	21	人	目標値	28	35			40	50	↗
			実績値	26						

総合評価	住みよさ指標の状況
C	「青少年の健全な育成」に関する市民満足度は、低下しているが、不満の割合(やや不満と非常に不満の合計)も、平成27年度の15.4%から平成28年度の14.6%に下がっている。一方でわからないと回答する割合が、平成27年度の20%から平成28年度の26%に上がっている。この結果から、市民の意識が「青少年の健全な育成」から離れている傾向が読み取れる。ただし、青少年講座参加者数や青少年リーダー数は、青少年健全育成3団体とともに事業を実施するなど、施策の成果として増加傾向にあり、青少年の健全な育成の推進は図られていると考える。

施策を構成する事業の状況

青少年地域活動事業において、青少年の健全育成に向けて、青少年健全育成3団体とともにその機会の充実に努めた。また、放課後児童会運営事業においても、開設時間の時間延長を7月から実施し、待機児童なしの運営も継続実施することで、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成に務めた。

これまでの取り組み	放課後児童会運営事業において、平成27年度から全学年の児童の受け入れを行い、平成28年度においては入会児童が1000人を超える実施状況となっている。 青少年地域活動事業においては、青少年健全育成3団体とともに、野外体験活動や、文化活動を実施し、各中学校区での青少年健全育成活動も実施してきた。 放課後子ども教室の取り組みは、平成19年度には1小学校実施に留まっていたが、年々その実施校数が増加し、平成26年度には、市内全13小学校にて実施した。
課題(めざす姿との差)	放課後子ども教室において、低学年児童対象の実施に留まっている点など、更なる地域との連携を進め、機会の充実に努める必要がある。 若者への青少年健全に関する取り組みが不足しており、若者の社会参画しやすい環境づくりの推進が必要である。 「青少年の健全な育成」に関する市民満足度において、市民の意識が健全育成から離れていることが推測でき、青少年健全育成活動の機会の充実に努めるとともに、その活動を広く市民に周知する必要がある。
今後の方向性	今後も青少年の健全育成を推進するため、広く市民にその取り組みを周知するとともに、地域、家庭、学校との連携を進めることでその機会の充実に努める。